

令和4年8月定例仙台市社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日 令和4年8月5日（金）
- 2 開会及び
閉会の時刻 午前10時00分開会 午前11時50分閉会
- 3 開催場所 仙台市役所教育局第1会議室
- 4 出席委員氏名 阿部哲也委員、安藤直美委員、石垣恵委員、泉山靖人委員、亀井あかね委員、齋藤愛委員、庄司弘美委員、高城みさ委員、内藤良介委員、中山慎也委員、朴賢淑委員、広瀬剛史委員、松本大委員
- 5 事務局職員 柴田生涯学習部長、武者生涯学習支援センター長、田村生涯学習課長、勢藤生涯学習課主幹、古谷生涯学習課生涯学習係長、須藤生涯学習課企画係長
- 6 会議の次第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶 松本委員長
 - (3) 協議事項
 - ① 今期会議のテーマについて
 - ② 協議テーマの視点について
 - (4) その他
 - (5) 閉会
- 7 会議の概要
 - (1) 協議事項
 - ① 今期会議のテーマについて
 - 資料2の1に沿って、委員長・副委員長・事務局でまとめたテーマ案を委員長よりお話しいただいた。
 - 委員のご意見を伺い、提案通りと決定した。
 - ② 協議テーマの視点について
 - 資料2の2に沿って、①と同様に委員長・副委員長・事務局でまとめたおおまかな二つの視点について、委員長よりお話しいただいた。
 - 委員のご意見を伺い、提案通りの視点で検討を行うこととした。
 - 2つのグループに分かれ、資料3に沿ってグループワークを行った。各グループの話し合いの内容については以下の通り。

【1. 地域における文化に関わる人材育成の課題】

Aグループ

- ・ 少子化、世代間ギャップ、心理的な障壁等による参加のしづらさ。
- ・ 場所、機会、時間や予算についての制約。
- ・ 魅きつける力、継承していく醍醐味を生み出せているか。

Bグループ

- ・ 担い手の高齢化や不足、よそ者に寛容ではない。
- ・ 子ども同士の交流の場・親世代から子どもたちへ継承する機会の減少。
- ・ 教育機関との連携の不足、地域の中での繋がりの希薄さ。
- ・ 行われている場所・参加の方法が明確になっているのか。
- ・ 運営団体・資金・人材を確保できるか。
- ・ 地域社会の活力を引き出す仕組みづくり。

【2. 地域における子育てに関わる人材育成の課題】

Aグループ

- ・ 子育ての形態の多様化による需要の変化への対応の遅れ。
- ・ SNSの普及により地域依存の必要性が減少している。
- ・ 魅力ある子育て支援施設が少ない。
- ・ 支援する側、される側のニーズが合致していないことによる、人材育成の難しさ。
- ・ 地域の各分野の専門機関が連携することの難しさ。

Bグループ

- ・ 行事・交流の場の減少による保護者や子どもの孤立。
- ・ 地域・行政機関から各家庭への情報発信や関わり方。
- ・ 困りごと・悩みごとを共有できる場所、寄り添い支援する専門機関が少ない。
- ・ 子育てに関する専門的な知識を持った人材・リーダーの育成。

○各グループの協議内容を踏まえ、次回定例会で調査のグループや部会について決定し、調査項目や調査先を検討していくこととした。

8 その他

○特になし

「仙台市社会教育委員の会議実施要領」第4条及び第5条に基づき会議録を作成し、同要領第6条に基づき委員長及び会議録署名人が署名押印する。

令和4年9月9日

委員長

松本 大

会議録署名人

石垣 恵